

CAVOK V 2018月年航海日誌 NO3

(8月27日(月) Coruf~10月5日(金) Palermo)

松崎義邦氏メール(10月7日)

皆様に

夏休みの終わりに孫と正田さんがコルフ島から帰国後、慶応時代の同窓生が来るまでの間アルバニアを訪問したりエリクーサ島で遊んだり悦子とゆっくりとイオニア海を楽しみました。同窓生の太田夫妻と立石さんとは10日程一緒にセーリングしてコルフ島の観光やアルバニアに寄港して、世界遺産になっているブトrintの城塞都市やギロカスタルの街並みを観光しました。そして美味しいシーフードを味わいました。

小さな小島のエリクーサ島、エトーニ島に寄港したのちイタリア半島の足のかかとの部分になるガリポリで太田夫妻と立石さんが下船して、又二人でイタリア半島の足の先からシチリア島に渡りました。イタリア半島の南端もノルマン、アラゴンに支配されたシチリア王国の立派な城塞の遺跡を見ることが出来ました。

シチリア島ではカターニャで友人のリサが乗艇しましたが、台風並みに発達した低気圧が近づき、6日程滞在してお天気の回復を待ちました。お陰でシチリア内陸の観光とシチリアの美味しい料理を堪能出来ました。内陸の丘陵地には農地が広々と広がり、所どころにレモン、オレンジ、オリーブ園やブドウ畑が点在し牧草地には牛、馬、羊が飼われていて、とっても牧歌的な風景でした。そして丘の上には12世紀シチリア王国時代のお城があり、それを囲むように密集した町が要所要所にありました。

エオリア諸島のヴルカーノ島では泥温泉、海中温泉も楽しみました。パレルモの隣のチェファルは海辺の景勝地ですがマリナーナにうねりが入り舳いロープが切れましたがダブルにしていたので大事に至りませんでした。

10月になるとこちらもしっかり秋の気配で朝晩は寒いくらいでフリースを着るようになりました。この後パレルモでイタリア人のパイロット仲間の友人が乗りサルデーニャ島までクルージングを楽しむ予定です。

後一か月弱の今年の航海になりましたが、安全第一に楽しみたいと思っております。

シチリア島 パレルモにて

松崎義邦

写真

1. コルフ島 パレオカストツリシャ
2. エリクーサ島 サンドラ邸にて サンドラ夫妻と
3. エットーナ島 カリプスビーチ
4. 太田夫妻、立石さんと
5. アルバニア ギロカスタルの町
6. アルバニア エージェント夫妻のお嬢さん
7. シチリア島 カターニャ魚市場
8. シチリア島 内陸 エンナ
9. シチリア島 チェファール

2018年 CAVOKV 航海日誌(3)

8月27日(月) Corfu 曇り 微風

朝方ばらばらと雨が降る。ここのところ連日積乱雲が発生して、時折マリーナにかかることがある。通常は通過するとカラッと晴れるが今日は太陽を見る機会が少なかった。

午前中にランドリーに洗濯物を出したり、メールの整理をしたりして過ごす。悦子はランドリーに出せないクッションを手洗いする。

一通り作業が終わってから、レンタカーがある内にと大きなスーパーマーケットに当面の食材と重いビール、水を大量に買い出しに行った。あれこれやっているとおつという間にお昼が来る。健康的な生活なのか正確に腹時計がお昼を教えてくれる。昨晚の鶏の胸肉を使ったサンドウィッチと野菜サラダを頂く。出来立てのパンで美味しかった。

アンカーチェーンのカウンターが表示しなくなっていたので前回もお世話になった業者に修理を午前中お願いしておいた。食後修理に来るが予想していた通り計器と導線の接触不良であった。

ラバーボートのエアーポンプが壊れたのでマリーナのチャンドラーで購入したが吸入口がボートと合わず色々工夫して何とかエアーが入るようにした。クルージングしていると次から次へと修理箇所が出てくるのでその対応で常に頭を悩ます。同時に解決する楽しみもある。

久しぶりに悦子と二人でのんびりした夕暮れを過ごし夕食にサーモンのグリルを頂く。

8月28日(火) Corfu 快晴

ここのところ雷雲の発生が続き、珍しく時折雨が降る日が続いたが今日の朝は快晴だ。

午前中に昨日の業者が来てチェーンカウンターの修理の仕上げをして帰る。コネクションをクリアーしただけだったが50€した。簡単な修理だが作業手順が分からなかったので必

要経費と諦める。昨日ランドリーに出せなかった絨毯やクッションを手洗いする。艇の上では皆さん裸で過ごすのでクッションも汚れてくる。1か月クルージングしているとあれこれやるが出てくる。

お昼に冷やし中華を頂く。ビールと合う。そして昼食の後は心地よい転寝だ。

午後ランドリーに出した洗濯物も出来て届けてくれる。

ほぼやることも終わったのでプールで泳いで熱くなった体を冷やしシャワーを浴びてハッピーアワーをする。

夕食はオニオンとジンジャーで味付けしてニンジンとズッキーニを盛り合わせて鶏もも肉のキャセロールを頂く。和風味で美味しかった。

のんびりした一日を過ごした。

8月29日(水) Corfu 快晴 微風

今日は私の73歳の誕生日だ。健康な体を生んでくれた両親に感謝する。

午前中悦子は艇内の清掃、片付けをする。明日エリクーサに寄ってからサンドロとフランカとアルバニアに行く予定なのでその準備をした。

悦子に日誌の誤字脱字を点検してもらう。

お昼に昨晚の残りの物のキャセロールを頂いた後、出国手続きと買い物があるので半日レンタカーを借りたいと思いレンタカー会社と交渉すると1日50€のところ35€で貸してくれた。

マリナー内にあるポートポリスで艇の出国手続きを最初にする。ここのポリスとも顔なじみになりスムーズに手続きが終わる。その後本港にあるイミグレーションに行きパスポートに出国のスタンプをもらう。マリナーに艇を置いていて出国出来るので便利だ。出国のスタンプをもらっても実際に出国するのは明日だ。

帰りにABスーパーマーケットにより買い出しをする。

今日は私の誕生日という事で、ビーフステーキで祝ってもらうことにした。

日中は大変暑かったが陽が沈むと半袖では寒いくらいの気温になった。

上等のヒレスステーキは1kg 31€だったがとっても柔らかくレアに焼いて美味しく頂いた。地中海のヨットの上で誕生日を迎えられ幸せだ。

8月30日(木) Corfu~Erikoussa~Himara(Albania)31NM 15NM 快晴 微風

朝食後07:55に舳いを解きサンドロのいるエリクーサに向かう。今日も静かな海面を機帆走する。コルフ島は緑が多く海から見る景色もきれいだ。12:50にエリクーサの泊地にアンカーを打つ。どこにでもアンカーが打てる絶好の泊地だ。テンダーを降ろしてサンドロ邸に行きアルバニアの情報を聞く。彼は明日忙しいので行けないとの事で我々だけで行くことにする。サンドロが良く知っているHimaraに行くのだが、彼が現地に電話してくれ入港、入国の手配もしてくれるエージェントに連絡してくれた。

約 15NM と近いので 14:00 にアンカーを揚げて向かう。お昼にサンドウィッチを頂く。

ヒマラは小さな漁港の町だが出入国出来る港だ。埠頭に近づくとサンドロの知合いのエージェントの方夫婦で来てくれ漁船の脇に横抱きするよう教えてくれる。16:55 に舫う。

エージェントの奥さんは英語、イタリア語、ギリシャ語、ドイツ語を喋れるそうだ。アルバニアでは高校で英語の先生をしているとの事だった。とっても感じの良い女性でアオロラさんという。CAVOK5 の上で入国書類を作成してくれた。魚の美味しいレストランの予約も取ってくれ 20 時予約の時間に迎えに来てくれレストランを案内してくれた。

夕食までの間私は直ぐ近くの海水浴場で泳ぐ。港のある海岸線がすべて海水浴場になっていた。アンカーリングしている艇が 2 艇程いた。

レストランは港の脇にあり見晴らしの良い場所にある。結構立派なレストランで彼女の教え子がウエイターでいた。

アルバニアのワインはわからないのでハウスワインを頼む。お薦めのサラダはこのお店の名前のサラダだったのでそれにする。ブドウ入りの甘酸っぱいビネガー味で美味しい味付けだった。

魚は色々の種類を見せてくれる。カレイを選んでグリルにしてもらおう。又フレッシュなイカもあるというのでこれもグリルにしてもらおう。新鮮で料理方法もギリシャの様にオリーブオイルをたくさん使わず食材の味を生かしていた。大満足でご馳走になった。22 時過ぎにお客さんが増えてきたので食事の時間帯が遅いと思っていたらギリシャとの時差 1 時間あったのを失念していた。お値段も安く 40€ だった。

8 月 31 日 (金) Himare(Albania) 快晴 微風

アルバニアの海岸も綺麗と聞いていたので観光船に乗ることにした。CAVOK5 の係留しである直ぐ脇から出港になる。10 時予定が 30 分程遅れて出港する。小さめの観光船で 12, 3 名の乗船客だった。殆どアルバニア人だった。

2 か所ほど陸から行けない綺麗な砂浜で停泊して泳いだ。

約 6 時間のクルーズで戻る。

夕方漁船が着いてサンドロに頼まれた魚をアオロラさんのご主人に買ってもらおう。

大きなアイスボックスにはホウボウ、アンコウ、イカで一杯になる。

夕食は昨晚も行った“Esperia”に行く。今晚はホウボウの良いのがあったのでグリルを注文した。新鮮で美味しかった。アルバニア産の白ワインを飲んだが癖のない飲みやすいワインだった。

9 月 1 日 (土) Himare(Albania)~Erikoussa (15NM) 快晴

微風

出入国の手続きをしているアオロラさんが 10 時に来る。すべて出入国手続きが終了という事でパスポートを受け取り 10:15 (アルバニア時間)

に舫いを解く。暫く機走していると後ろからポリスボートが追いかけて来て何処に行くか確認してきた。ギリシャ・コルフ島に行くというと出国書類にはイタリア・ブリンデシになっているという。そしてコルフに行くにはアルバニアのサランダによってパスポートコントロールを受けなければいけないといわれる。全く意味がわからないのでアオロラさんに電話で聞いてみると彼らがおかしいとの事でサランダに寄ることなく、コルフから入国で問題ないとの事だったのでそのままエリクーサ島に向かう。

14:50 にエリクーサ島のマリーナに舫う。

ここのホテルのシェフのテオさんは日本食に大変興味を持っていて悦子に日本食に着いて色々教わっている。彼も日本料理はある程度知っていて一応魚を日本流にさばける。

悦子が寿司飯を艇で炊いてイカの姿寿司、ホウボウの刺身、マグロの握り寿司、そして私はイカと野菜の天ぷらを揚げる。

結構評判良くホテルのお客さんが日本食を楽しんでくれた。

今晚の夕食はご馳走になった。

9月2日(日) Erikoussa~Othoni(9NM) 晴れ 微風

シェフのテオさんと彼の13歳になる息子バジーリズと一緒に隣の島エトーニに海水浴に行く。ここエリクーサ島のマリーナは小さな島のせいか水の制限があり朝と夕方しか使えないので不便だ。そんな訳で水の出るうちに洗濯して給水したので出航が遅くなり 11:30 に舫いを解く。

9NM と近いので2時間弱でとてもきれいな猫の額ほどの海からしか来れない砂浜のカリプソ沖にアンカーを打つ。10m 以上ある底が綺麗に見える。皆さん泳いでお昼に彼らが持って来たミートパイと日本そばを頂く。約3時間弱遊んでエリクーサに17:40 着く。今日は沖合にアンカーを打った。

サンドロ邸に行って美味しいアイスコーヒーを頂いて来客者とおしゃべりをしてから艇に戻る。今日は艇で、メロン生ハムでハッピーアワーをしてから野菜サラダと日本風味の鶏料理を頂く。オニオン混じりのソースが良い味を出していた。



9月3日(月) Erikoussa 晴れ 微風

午前中艇の上でのんびり過ごす。

錨泊している艇も今日は少なく3艇だけだった。

お昼に蕎麦と、昨日テオさんからもらったひよこ豆を玉ねぎと煮た料理で頂く。ひよこ豆が美味しい。

15時過ぎに泳いで浜に上がりスタンドアップパドルボードの練習をする。結構バランスをとるのが難しく足の筋肉がびくびくしてくる。何とかへっぴり腰ながら倒れないで漕ぐことが出来たが足の方がへばってきたので長くは出来なかった。

今晚は夕食の予約をする。いつもご馳走になって居るので今日はレストランのお客さんという事になる。

19時前に悦子とテンドーで上陸する。今日のお客さんはオーストリアからの夫婦、この島に別荘を持っているイタリア人夫妻、アテネから来た写真家とモデル、その他家族連れが二組程いる。

アペリティフにロゼワインを飲みながらパノラマに見える海を見ながら食事までの時間を楽しむ。

テオさんが調理した、お刺身も加えたフルコースの美味しい料理をサンドロ夫妻と一緒に頂いた。

ここではワインはいつもイタリアワインになる。

仕上げは、悦子はチポリ、私はウイスキーのオンザロックにした。

23時過ぎに真っ暗な海をテンドーで戻り静かな海で眠りにつく。

9月4日(火) Eiriloussa~Corfu (Gouvia) 31NM 晴れ 微風

今日の午後から6日迄風が強くなる予報なので5日にコルフ島に行く予定をしていたのを一日早めて今朝8:10にアンカーを揚げる。生憎と午前中は風が吹かず全行程機走になる。

13:30にグービアマリーナに舫う。

アルバニアで出国してから未だギリシャに入国していないので手続きをする。マリーナにあるポート・ポリスでいつも艇の入国出来るのだがいつも手続きしてくれる愛想の良いポリスが休暇に入っていないなく、別の若い女性のポリスが対応してくれたが彼女では手続きできなく結局本港のポート・ポリスに行くことになった。

タクシーで往復すると40€位かかるのでレンタカーを三日間105€で借りた。

本港のポート・ポリスは美人のポリスで尚且つテキパキ書類を作成してくれた。これを持ってパス・コントロールに行行って入国を無事済ます。

アルバニア出国の際ポリスポートが追いかけて来てサランダで出国手続きをしろと言われていたのでギリシャへの入国が心配だったがアウロラさんの云った通り問題なしに入国出来た。

グービアマリーナの7日の予約がマリーナ満杯という事で取れてないので帰りにケルキラ城の脇にあるMandrakiとNAOK YACHT CLUBによって7日のバースの空きを聞いてみる。生憎とMandrakiは満杯との事NAOKの方はマスターがいなく後日確認することにした。

グービアマリーナは大きいマリーナだがチャーター艇の大きな基地になっていて金曜日はその艇が戻ってくるので前日も金曜日は取れなかった。

6日に来る友人の観光を7日に考えていたので計画を再度練り直す必要が出てきた。

帰りにお店に寄り丁度艇に良さそうなワイングラスを見つけたので六脚買う。艇でもグラスのワインで飲みたいのでグラスを使っているが結構割れてしまう。

食料も切らしてきたので途中のスーパーマーケットで当面の食材を購入して艇に戻る。

夕食は野菜サラダ、ひよこ豆、ジャガイモ、ニンジン、オニオンと一緒に蒸したポークを白ワインで頂く。

夜風が涼しくなり半袖と半ズボンで、外で食事しているとちょっと寒いかなぐらいになるがアルコールが入ると丁度良くなる。

野菜でお腹いっぱいになる。

9月5日(水) Corfu 快晴 強風

朝洗濯物をランドリーに出してから艇の水洗いをする。アンカーとチェーンとのコネクションの一部にネジを使っているがそれが緩むとアンカーが離れてしまうのでネジが緩まないように整備をする。

マリーナに 7 日の係留の件を確認するが未だ空きがないとの事だ。昨日寄ったがハーバーマスターが不在で確認取れなかった NAOK ヨットクラブに行って聞いてみたが現在ビジター用バースが無いという事で断られる。

結局 7 日のコルフ島滞在は止めて 7 日アルバニアのサランダに 2 泊で行くことに決めた。

早速調べておいたサランダのエージェントの Agim さんに電話するとサランダでの出入国手続き、繫留の確保をしてくれるとの事であった。これで安心して行ける。

お昼過ぎに島の西側をドライブしてパレオカストリッアの綺麗な海岸線を上から眺め、その後海から聳え立つ岩山の上に建つアゲロカストロの城塞の下の店でお昼を食べる。

残念ながらお粗末なお昼だった。



17:15 に太田夫妻が空港に着くのに迎えに行く。長い飛行機の旅にも拘わらず元気に姿を現す。機内で良く寝れたそうだ。

今日彼らはホテルを予約してあったので其処まで送った後、旧市街地で一緒に食事をする。

いつも行く“REX”でコルフ産赤ワインにサラダ、ヒレスステーキ、ヴィールステーキ、ハンバーグを食べる。デザートにケーキをサービスしてくれた。お肉は柔らかかったがソースがイタリア風味のクリームソースでどちらかと云うとシンプルなガーリック、塩、コショウの方が良かった。

10 時過ぎても人が沢山溢れていた。

ホテルに太田夫妻を送って戻る。

9月6日(木) Corfu

11時に太田夫妻をホテルに迎えに行く。艇に着いて荷物の整理をした後、コックピットでアイスコーヒーを飲んで一休みする。

お昼はマリーナ内のレストラン“Argo”でサラダを食べる。

明日からの航海に備えてLidlとABスーパーマーケットに行って当面の買い出しをする。

艇に戻って太田さんとプールでひと泳ぎしてプールサイドでビールを飲んでからシャワーを浴びる。

風が心地よく日中でも暑さを感じない天気だった。

太田さんは囲碁三段の腕前だ。今回わざわざ私の為に碁盤を買って持ってきてくれた。

食事前にブルを飲みながら定石を教えてもらう。個人教授で贅沢だが私の記憶力が良ければ結構腕が上がるはずだ。

夕食はひよこ豆、野菜サラダ、サーモンのグリルを白ワインで頂く。

私は今晚22:40に着く立石さんを迎えに行かなければならないのでお酒は控えた。

涼しい心地よいコックピットでの食事だった。

空港に太田さんと二人で出迎えに行く。ローマからの飛行機は少し遅れて23時過ぎに着したがロスアンゼルス～ストックホルム～ローマ経由の長時間飛行にかかわらず元気に姿を現した。

艇に着いてからコックピットで心地よい夜風を浴びながらウイスキーの水割りを飲みながら歓迎会をする。話も弾んだが1時過ぎになったのでお開きにした。

9月7日(金) Corfu (Gouvia) ~Albania(Saranda)15NM 晴れ 微風。

皆さん長旅でお疲れだったので朝食は遅く9時に頂く。

その後今日はアルバニアに行くのでギリシャの出国手続きをする。

最初にマリーナ内にあるポートポリスで艇の出国手続きをしてから本港のパスポートコントロールで我々の出国手続きをした。

艇に戻りレンタカーを返して、11:30に舫いを解く。

昨日の風が治まり静かな海を暫く帆走する。15NM先と近いので速度が4ノット以下に落ちても帆走するが1時間弱で風が無くなり機走にする。

コルフ島とアルバニアは近いところで1NMも離れていない。その間を抜けて行く。

お昼にパスタを頂き13:30にサランダに入港する。サランダはギリシャより1時間早い時差なので約3時間で着いた。

入港前にVHFでエージェントに無線を入れると指示してくれ埠頭で待っていてくれた。ボート用の岸壁に横着けする。3艇ぐらい横着け出来るスペースがあり檣着けすれば6,7艇は入りそうだった。水、電気もあり入国のペーパーワークはエージェントが艇の上で

やってくれた。すべてがスムーズで助かる。先着にドイツ艇1艇いた。

早速レンタカーを借りてブトリント遺跡に行く。サランダから南に30km行ったところにある。ブトリント遺跡はイオニア海の港として栄えた城塞都市でその歴史はギリシャ、ローマ、ビザンチン、ヴェネチアそしてオスマントルコ時代と歴史の変遷の都市になっている。

一つの島を要塞都市にしている。島一周を廻って見学する。

持参のカーナビの指示の読み方が難しく細い車の通らないようなところを指示してくるので難儀した。

サランダの町は観光主流の町でゴルフからフェリーが数便、イタリアの布林デシからも来ている。綺麗な街でホテルや旅行者用のアパートメントが立ち並んでいる。海岸線は海水浴場だ。

美味しいシーフードレストランをエージェントに聞いて食べに行く。サラダにオラーダ（黒鯛の一種）とシーバスをグリルでエビを揚げてもらい食べる。魚は上手く焼いてあり新鮮で美味しかった。地元の白ワインを頼んだ。

美味しく頂いて5人で52€だった。

艇に戻ってから今晚も太田さんから囲碁を教えてもらってから休む。

9月8日（土）Saranda 快晴 微風

今日はサランダから60km位北にあるギロカスタルに行く。世界遺産になっている歴史的建物の並ぶ街並みとギロカスタル城の観光をする。サランダの町を出てから国道を道なりに走る。途中森林地帯の公園を抜けてから山脈を越えてギロカスタルのある広い盆地に入る。途中森林地帯の湖に湧水が青く湧き出ているブルーアイという池がある。帰り寄ることにする。

ギロカスタルの町はアルベロベッロの近代版というような感じで屋根は白い平岩に統一され建物は石積になっている。そしてその建物が集まって町を形成している。通りはお土産物屋さんがずらりと並んでいた。

ギロカスタル城はその街を見下ろすように丘に建っている。城の起源はヘレニズム時代からでその後ローマ帝国、ビザンチン、ヴェネチアそしてオスマントルコと続いている。

近代では第一次大戦、そして第2次大戦と戦争の舞台になっている。特にパルチザンとドイツ軍との戦いの戦場であった。

お城の中にはドイツ軍がパルチザンを捕まえたときの牢屋や、水攻めの部屋があった。

当時の戦争の形跡を残した博物館の様になっていた。

ギロカスタル城から見る世界遺産の町の風景は統一された作りの家々と遠くの山脈と相まって美しい光景だった。



お昼は町の広場で食べ、帰りにブルーアイに向かう。来るとき場所は分かったつもりだったが見過ごしてしまい通り過ぎガソリンスタンドで教えてもらい戻る羽目になった。

ブルーアイのある公園は綺麗な急流の川が流れている森林の中にある。

ブルーアイはその流れの途中の池にあり湧水が勢いよく底から湧いていてその分がコバルト色の鮮やかな青になり上から見るとブルーアイとなる。

足を入れてみると大変冷たい。10℃との事だった。

ブルーアイから戻る途中に湧水がでてそこで飲めるようになっているので飲んでみる。

水道の水と違い柔らかい感じの味だった。

町に戻りレンタカーを返してから全米オープンテニスで大阪なおみとセレーナとの決勝戦がこちらの時間で22時からやるのでこれが見れる場所と魚の美味しいレストランを教えてください。

20:30にレストランに行くことにしてその間にシャワーを浴びて、ハッピーアワーをする。

レストランは海岸沿いの小さなホテルにあり、そこで大画面の映像も見れる。幸い22時から放映するのでその前に食事をする。何時もの様に野菜サラダ2種類、ムール貝、ピッツァ、スパゲッティそしてワインはハウスワインを10頼む。ムール貝が新鮮なのとちょっとスパイシーな味付けがとっても美味しかった。

食後丁度試合が始まる。嬉しいことに大阪なおみがストレート勝ちで優勝する。大変な

快挙をアルバニアで味わった。

9月9日(日) Albania(Saranda)~Corfu (Gouvia) 15NM

朝約束の時間にエージェントが出国手続きを終えて書類を持ってきてくれた。2泊の係留料入れて90€だった。

8:40に舳いを解く。暫く帆走を楽しんだ後風が無くなり機走する。コルフに近づくにつれてヨット、モータークルザーの数が多くなる。

12:30にグービアマリーナのガソリンスタンドに着けて燃料を入れる。51ℓだけだったが燃料は入れられるときに出来るだけ入れるようにしている。

13:00にサンドラのバース C31に繋留する。毎年のようにコルフに来た時は彼のバースを借りている。彼の艇は夏の間エリクーサ島に繋留しているからだ。前は彼の友人の艇が入っていてここに泊められなかったが今回は空いたのでOKとの連絡をもらっていた。

1日75€の係留費がただになるので助かる。

お昼にお蕎麦を食べた後本港に行って入国する。非常にスムーズに出入国がアルバニア、ギリシャ間で出来るので助かる。入国手数料は15€だった。

今日の観光は止めてマリーナのプールサイドでゆっくりする。

夕食はマリーナの外にあるレンタカー屋のおばさんに教えてもらった“Harry's Taverna”に行くが大繁盛していた。

野菜サラダ2種類、カラマリフライ、ムサカ、ムール貝、サーディングリルをハウス白ワインで食べるがすべてが新鮮で味付けも良く大成功だった。ギターの生演奏もあってヨット関係のお客さんが多かった。

帰りにレンタカーを借りて帰る。2泊3日で75€だった。

艇に戻り太田さんに囲碁の手ほどきをしてもらい休む。

9月10日(月) Corfu 快晴 微風夕方順風

ゆっくり寝てしまう。遅い朝食を食べてからアヒリオン宮殿に行く。ここは1889年にオーストリア エリザベト皇后によって建てられた宮殿だ。ウィーンでの窮屈な生活を逃れるため、静養を名目に訪れていた。エリザベトが好きだった英雄アキレスの名前からアヒリオンと名前をつけたそうだ。庭には一流の彫刻や肖像が並び、広大なテラスガーデンからはイオニア海が見渡せ、宮殿内にはアキレスの大きな油絵を始め貴重な芸術作品が展示してある。

見学の後ケルキラ市内に戻り海とケルキラ城の見えるKAOKヨットマリーナの上にあるレストランで昼食をとる。

その後旧市街地を観光して16時過ぎに艇に戻りプールサイドで休んで過ごす。

夕食は旧市街地のレストラン“Rex”に行くが休みで仕方なくマリーナに戻りレストラン“Argo”で食べる。グreekサラダ、シェフサラダ、そして今日のお店の特選料理の“魚

の盛り合わせ”とポークの足肉のグリルを食べるが皆で食べきれずポークの足肉は一人前持ち帰る。

魚の盛り合わせは色々な小魚とイカが入っていた。ポークの足肉は上手にグリルされ美味しく食べた。

艇に戻ってから今晚も太田さんから囲碁の手ほどきを受ける。

深い眠りに入った。

9月11日(火) Corfu 快晴

今日は島内の北側を観光することにする。

最初ニサキ (Nissaki) からカシオピ (Kassiop) までの東側の風光明媚な道をドライブして島の北西端にあるシダリ (Sidari) に行く。アルバニアが直ぐそばに見える。シダリは浸食され砂岩郡の景色が青い海とのコントラストで美しい。若者 3 人の男女が砂岩の上から飛び込んで楽しんでた。その後島の西になるに行く。ここはリゾート地で上からの海の眺めは素晴らしい。その海を眺めながら山の上のレストランで昼食をとる。太陽の光が一層輝きをましていた。海を眺めた後はパントクラトル (Mt.Pantokrator) を目指す。途中オリーブクラフトのお店で買い物する。オリーブファクトリーを見学したかったがこの時期未だオリーブの収穫時でなく工場は閉まっていた。パントクラトル山は標高 906m だが島一番高い山でイオニア海を鳥瞰図のように見ることが出来る。アルバニアは勿論サランダの町も良く見える。イタリア側の方には明日行く予定のエリクーサ島の島も見える。素敵な眺望だ。頂上には教会もありお茶屋もある。一杯コーヒーでも飲んでゆっくりしたいところだったが時間が遅くなってきていたので艇に戻る。

明日から島めぐりになるので AB スーパーマーケットで買い物する。

夕食はレンタカーを返しがてら先日行った “Harry’s Taverna” で食べる。

グreekサラダ、ムール貝、ポークスーヴラキ、ミートボール、クレフティコ (骨付き羊肉をオリーブ油とレモン汁でマリネし、ゆっくりと蒸し焼きした料理)、タコの足のグリルを白のハウスワインで食べる。明日からギリシャ内だが小さな島を訪ねるので今晚はギリシャ料理だけにした。いずれも美味しく、ギリシャ料理は美味しいという事になった。

今夜も太田さんに囲碁の手ほどきを受けて休む。

9月12日(水) Corfu (Gouvia) ~Erikoussa (31NM)

朝食後マリーナのオフィスに行き出港の旨伝える。サンドロのお陰で繫留料は無料になった。前日にフランカが魚を買い付けしたのでエリクーサ島まで運んでほしいとの連絡があったので頼んだ魚を待つ。9時過ぎに受け取り 09:30 に舳いを解く。

昨日ドライブした海岸線を見ながら北東端にある小島を通過するまで機走する。其処からコースが西に変わったのと良い風が吹き出して来てセーリングを楽しむ。お昼は野菜たっぷりのサンドウィッチをビールで頂く。このサンドウィッチがトマト、オニオン、レタ

ス、キュウリに生ハムが入っているが野菜のそれぞれの味と生ハムの塩味が相まって美味しい。

好きな昼食の一つだ。

15:00 にエリクーサ島のマリーナに舫いを取る。今日はスタッフが舫いを取りに来てくれた。

そしてサンドロとフランカが迎えに来てくれていた。魚の入ったトロ箱を渡す。

マリーナオフィスで手続きをする。ここは今年出来たマリーナなのと小さな島のせいか水道とシャワー、トイレが常時使えず時間制限があり多少不便だが錨泊を考えれば問題なしだ。

サンドロに太田さんに運んでもらったサントリー山崎と日本酒を届ける。

皆さんとホテルの前の海水浴場に行き、パラソルの下でのんびり過ごす。

私はスタンドアップパドルリングの練習をするがバランスが難しい。

車を借りて艇に一度戻り夕食にサンドロのホテルに行く。

アペリティフに其々ワイン、ビールを飲む。

夕食はムール貝とシーバスの塩釜をイタリア白ワインで食べる。シーバスは今朝我々がゴルフから運んだものだ。

海を臨むテラスで心地よい雰囲気の中で美味しい夕食を楽しんだ。他にお客さんが二組いた。

帰り車を借りて艇に戻る。

今夜も太田さんに囲碁の手ほどきを受けるが24時過ぎになり目が開かなくなり就寝する。倒れるようにぐっすり眠りに入る。

9月13日(木) Eriloussa 快晴 微風

一日のんびりエリクーサ島の海岸で休むことにした。朝借りていた車を返しに行く。

係留場所からサンドロのホテル **Acantha Boutiqu Hotel** まで歩くと若干距離があるのでテンダーを降ろして海岸まで行く。

お昼のラーメンにサンドロ夫婦を招いて艇で一緒に食事する。

食後皆さんひと眠りする。起きてから洗濯をする。

夕方近くになり又海岸に行きビーチベットでのんびり過ごす。3回目のスタンドアップパドルリングの練習をするがまだまだ不安定な乗り方だ。結構難しい。

マリーナの時間制限のシャワーが使えたので皆さんシャワーを浴びる。

悦子は刺身とたたきを作るため艇に戻らずホテルの厨房で仕事する。

20時前に我々は歩いてホテルに行き、夕食を食べる。

今日はオリーブ、カポナータ、そしてスパゲッティはジェノベーゼとシュリンプとツナとオーベルジンのパスタのチョイスでそれぞれお気に入り頼みイタリア産白ワインと赤ワインで食べる。悦子の作った刺身、たたきは25人いたお客さんに回り我々の口には入ら

なかった。デザートはパンナコッタとアイスクリームのチョイスだった。

その後オーストリアから来た4人連れの家族とサンドラ夫婦と一緒にサントリー山崎を楽しんで夜更けを楽しんだ。オーストリア人のお嬢さんは日本が好きで日本に来たこともあり写真を見せてくれた。奥さんは笑顔を絶やさずとっても感じの良い方だった。

24時過ぎに車を借りて艇に戻る。遅くなったので太田さんに簡単な定石の復復習してもらい寝る。

9月14日（金）Eriloussa～Othoni（9NM）

ここのところ滞在する日が多いのでついつい朝寝坊してしまう。

朝食後車をサンドロのところに返しに行こうとしたところフランカが車を取りに来た。

申し訳ない事をした。

彼らはお客さんと一緒にサンドロの艇で隣のオトーニ島のカリプソ海岸に行く。我々も今日はオトーニ島に停泊予定なので彼らの後に続く。カリプソ海岸は海からしか行けないところでコルフ島からも艇がアンカーリングしに来る。白い崖に囲まれた白砂の海岸で海がクリスタルウォーターで魚も結構見れてお気に入りの場所だ。



先にサンドロの艇がアンカーリングしていた。泳いで彼の艇に行き暫く今後のクルージングの後の予定のお話をする。今回帰国する前にトスカーナにある彼の家にお邪魔する予定になっている。

又イタリアのマリーナについて教えてもらう。

彼らはこの後他の島に行って昼食との事で、ここでさよならをする。

CAVOK5に戻ると足ヒレを落としたという事で潜る。10m あるので耳貫が心配だったが問題なく潜れて足ヒレを回収できた。

波があつて艇が揺れるのでここでの昼食は諦めてオトーニ島の港に移る。幸いに電気、水道の使える岸壁が空いていたので其処に横着けする。

その後村のタベルナに行き WIFI を使う。

私は日課の泳ぎをする。水が澄んで気持ち良い。

夕食はポークの肩ロースのグリルとラタトゥイユを頂く。ラタトゥイユは野菜のエキスが出て美味しい、ポークも柔らかくそしてソースとマッチングしていける。ライスにソースをかけて食べたがそれも美味しかった。白、赤其々1本空ける。

9月15日(土) Othoni~Leuca 48NM 晴れ 微風

朝7時に起きる。直ぐ出港の用意をして7:35に舳いを解く。悦子はその間朝食の準備をする。風が無く穏やかな海だ。出港してから朝食をとる。

弱い向かい風の中機走するが風が気持ちよい。隣の艇も同じ目的地だったが先に出港していて既にいなかった。

途中追い付くかと思ったが最後まで追いつけなかった。イオニア海の出入り口を横切っているので本船が多くなる。お昼にラタトゥイユを使ったオムレツとソーメンをビールで頂く。

レウカに着く1時間前に半島に出来た入道雲の端っこが被ってきて小雨を降らすが入港前に青空になっていた。

15:10に舳う。ギリシャとの時差が一時間ある。

レウカは丁度イタリア半島の南東端なのでギリシャ方面の行き帰りの時に良く寄るマリーナだ。

隣には先に出たイタリア人の艇が舳っていた。そしてキハダマグロが今朝釣れたという事で切り身を分けてくれた。

私はイタリアに入ったのでボーダフォーンのSIMを買おうとボーダフォーンショップを聞いたがこの町には無いという事で諦める。そしてイタリアの国旗が無かったのでお店を探してダイバーショップで何とか手に入れた。

夕方頂いたキハダマグロを刺身にして白ワインで一杯やるが結構おいしかった。マグロをくれたイタリア人夫妻に届けるが奥さんは全く刺身が駄目なようで口にできなかったがご主人の方はパクパク食べた。

夕食はビーフステーキを頂くが焼きはとっても上手にできていたがお肉自体が今一だった。

今日も食後太田さんに囲碁の手ほどきを受ける。

9月16日（日）Leuca～Gallipoli 30NM 晴れ 順風

今日は30NMの距離なので朝食のお握りを頂いてから舳いを解く。

北風の順風で直ぐセールを揚げる。15ノット前後の風を受けてクローズドリーチで6ノット以上キープする。

途中風が前に回りクローズホールドになったがセーリングを最後まで楽しんだ。

ガリポリのガリポリ城を回り込んでMarina Blue Salentoのマリーナに入る。VHF9で呼び出したが暫くしてから返事をしてくれる。予約してあるかと聞かれた。いっぱいのように予約をしておいて良かった。ここには3つほどマリーナがある。前もってサンドロに教えてもらったマリーナを予約しておいた。

お昼を食べてなかったのがガリポリ城の前でシーフードとシーアーチャンのパスタを其々ビールで食べる。流石イタリア茹で具合もアルデンテ気味、味も満足だった。

その後一つの島が城塞都市になっている旧市街に橋を渡って行く。ガリポリ城が橋を渡ったところにあり見学する。このお城は12世紀に東ローマ帝国の要塞として建設されその後アンジュー家、アラゴン王国、メッサピア、ノルマン、ベネチアと統治は推移している。

私はその後17時からボードフォーンショップがオープンするという事で行ってみるが日曜日で休みだった。そしてレセプションで艇の受付を済ます。63€だった。

大田夫妻、立石夫妻のCAVOK5での最後の夕食を艇で取る。



生ハムメロンから始まり野菜サラダ、ガリポリで手に入れたあさりのガーリック蒸、そしてツナのトマトソース味パスタを白と赤ワインで頂く。ガーリック味の新鮮なあさはり特別美味しかった。

ここで太田夫妻、立石さんは離船するので荷造りをする。明日は我々が 72NM 先のクロトーネまで行くので早くやすむ。

9月17日(月) Gallipoli~Crotone 72NM 晴れ 北12~15ノット

太田夫妻、立石さんは6:20にタクシーを頼んでおいたので6時過ぎに下船する。同時に我々は06:10に舳いを解く。日の出は06:34だった。

朝早くなり慌ただしく申し訳ないことをしたが日没前にクロトーネに入港したかったので勘弁してもらった。

太田さん達はタクシーでレッツェ迄行ってそこでレンタカーを借りてマテーラ、アルベロベッロ、アマルフィ、ボンベイ、ナポリそしてローマと3泊4日の内陸旅行を楽しむ予定だ。

我々はタラント湾を西に横断する。北風が15ノット前後吹いてくれ最初からセーリングで6~7ノットの速度で順調だ。日没が18:57なので19時前までに到着したいので6ノット以上のスピードのキープが必要だ。幸い風が続き10時過ぎにはジェネカーを揚げる。

残り20NMの時点で速度が6ノット切ようになったのでジェネカーを諦め機走に移る。

18:30に予定通りクロトーネのYachting Clubに舳う。前回はLega Navale Crotoneに舳うがここにVHFで連絡したが返事がなく、手招きで呼んでくれたYachting Clubにした。

繋留料も40€と安く、町には少し遠いがスタッフも親切で気に入った。

早速町に出る。ここも城塞都市で歴史は古く紀元前700年からギリシャの植民地として栄えピタゴラスも住居を構えたところだ。

町の中心街が港を挟んで城塞の反対側なので城塞を廻る形で結構歩いて行く。

ボーダフォンショップを見つけてSIMカードを手に入れてから、港の近くのレストランで遅い夕食を取る。野菜サラダ、シェフのお薦めアペタイザー、マルゲリータピザを赤ワインで食べる。食べたかったイタリアのピザ、流石焼き加減も丁度良くトマト味も美味しかった。

23時過ぎに艇に戻りシャワーを浴びてメールチェックして休む。疲れが眠りを深くする。

9月18日(火) Crotone 快晴 微風

今日は次の寄港地La Castelloに行く予定だったが天候が暫く安定しているのと連日の疲れもあったのでクロトーネで休養することにした。

今回繋留したYachting Clubは場所こそ外防波堤の内側にあつて不便な場所だがスタッフが非常に親切で気持ち良い。施設もそれなりに水、電気、トイレそして有料だがシャワーと洗濯機もある。人通りも少なく静かで田舎の港という感じでのんびり過ごせる。

午前中に溜まった洗濯をする。

その後二人でフィッシュマーケットに行き、カラマリ、あさり、シーバスを買う。私はスマートフォンのSIMを昨日買い忘れたので旧市街を横断して中心部にSIMカードを買いに行く。どうも通信関係はスムーズに行かず今回もボーダフォンショップの不具合でこの時間SIMカードの登録が出来ないという事で午後4時過ぎに来てくれという事で引き返す。往復3KMはある。

途中マーケットが開いていたので野菜と果物を買って帰る。

お昼にサラダと朝仕入れたボンゴレをガーリックソテーで、そして久しぶりに冷奴を頂く。ボンゴレはガーリック風味で良い味が出ていた。白ワインにピッタリだった。

食後は海風に吹かれながら午睡を楽しんだ。

夕方再度ボーダフォンショップに行き無事スマートフォンが開通した。

隣には親子6人ずれのイギリス艇が入っていた。4人の子供たちは最年長者で小学校高学年ぐらいであった。

夕食は生野菜のサラダ、温野菜のサラダ、イカのグリル、シーバスの蒸しを白ワインで頂く。イカが新鮮で、かつこちらのグリルの様にウエルダンにグリルするのでなくレアに近くグリルしてあるので美味しさが倍増した。今晚も静かな夜だった。

9月19日(水) Crotone~Le Castella (20NM) 晴れ 微風

朝食をゆっくり食べた後にこやかなスタッフとお別れの挨拶をして09:30に舳いを解く。

風もなく静かな海面を機走する。途中横から5ノット前後の風が吹いたので機帆走にする。

途中この辺りは自然保護海域がZone AとZone BがありZone Aは航行禁止になっている。二つほどあったZone Aを避けて航行する。見ていると地元の釣り船が中に入っている。

近回りで禁止海域を通りたくなるが避けて通った。

Le Castellaの入り口は浅くて狭いので用心深く進入する。港の中に入って2年前着けた入り口の岸壁に着けようとするスタッフが出来て舳いを取ってくれる。

12:40に舳い昼食にお蕎麦を頂く。

ビジターは我々だけで港の中は地元艇でいっぱいになっている。小さな港なので皆さん通り過ぎて寄らないようだ。

とっても静かな港で艇にいて休まる。

ここも歴史がある。紀元前4世紀にギリシャの植民地として栄え、その後ローマ帝国の支配下になったがカルタゴのハンニバルがローマ帝国にここまで追い詰められている。

西ローマ帝国が滅びた後、ノルマン、ビザンチン、アラゴンと統治は推移している。

岬から120m程沖合にあるお城は15世紀にスペインのアラゴン王国が築いた城だ。

この辺りの歴史を調べるのは面白いが資料がないので苦労する。

悦子は腰が痛いというので一人でお城の見学に行く。

夕食は大盛野菜サラダ、カラマリのゲソとエンペラ、シーバスのグリルを白ワインで頂く。

カラマリは日本のイカと同じ味がして美味しく頂いた。いつも健康的な食事だ。

9月20日(木) Le Castella~Rocceella Ionica 45NM 晴れ 微風

8:00に舳いを解く。

このイタリア半島の足の部分はイタリア側とギリシャ側との行き帰りに良く通るところだ。

行き交うヨットが結構多い。今日も風が弱く機帆走する。同方向に艇が3艇程一緒になって行く。お昼は冷や麦と冷奴を頂く。機帆走していると暇なのでつついあれこれつまみ食いをしてしまう。ブドウ、ピスタチオ、ビスケットそして紅茶を飲む。

この港は砂が堆積して入り口が浅くなっているところがある。2016年に来た時はスタッフがボートで入り口まで来てくれ誘導してくれたので問題なく通過したが今回は誘導なしで入ろうとしてオンサンドしてしまった。前進、後進をいれても動かないのでVHFでマリナーを呼び出し助けに来てもらった。その間に一緒に来た艇が脇をすいすい入港して行った。この後シシリー島のタオルミーナまで70NMあるので給油のためガススタンドに寄る。

ポンツーンはコの字型に栈橋があり其処にアロングサイドで16:15に着ける。北ヨーロッパではこのタイプの係留が多いが地中海では珍しい。

繋留終わると英国人夫婦が声を掛けてくれ6年前キスノス島で会ったとの事だ。我々の名刺も持っていた。

オフィスに手続きに行くとスタッフの女性が前回来たことを覚えていてくれた。

2012年最初に寄港したときは水と電気は無かったが20€だったのが2015、16年には50€そして今年は80€と繋留料が上がっている。いずれも夏のシーズンだ。

声を掛けてくれたのはキスノス島のルートラでお会いしたJinti夫婦だった。とっても感じの良い初老の夫婦で我々と同じで夏の間地中海を航海しているそう。

夕食はこの名物の特大ピZZAを食べる。毎回ここによると食べるが二人でも半分食べきれない大きさだ。マルゲリータピZZAを頼んだがトマトとチーズの味がイタリアらしく美味しい。サラダ、白ワインで食べた。久しぶりに食べ過ぎをしてしまった。

9月21日(金) Rocceella Ionica 晴れ 微風

朝方雨が降ったが直ぐ青空が見えてきた。

午前中にここから3km位離れている町に買い物と観光を兼ねて歩いて行く。海岸沿いの遊歩道があり気持ち良い。

イオニア海を見渡す崖上にアンジュ家が15世紀立てたお城が堂々と立っている。ここロツェラ・イオニカもギリシャの植民地からの歴史を持っているが現在は静かな田舎町だ。

夏にはジャズフェスティバルが開催されたりして海水浴客でにぎわうそうだが 9 月後半になると大変静かな田舎町だ。

魚屋さんを聞いて行ってみると良い魚を置いてある。新鮮なカラマリ、エビ、サーディンとムール貝を買う。

今日キスノスでお会いした夫妻にハッピーアワーの招待をしているのでその準備だ。

野菜も買って帰りはタクシーを使うが電話してもイタリア語で通じず、近くに居た女学生に電話してもらい無事来てもらう。親切な可愛い子だった

悦子はハッピーアワーの準備をする。

19 時に 6 年前に会った英国人夫妻の Jinti さんと同じくここに繋留している英国人夫妻が来る。

ハッピーアワーはエビ、ムール貝、カラマリでワインを楽しむ。とってお喋りなお仲間間で楽しい時間を過ごす。Jinti 夫妻は一日遅れでカターニャに来るという事で又の再会を約束する。

ハッピーアワーだったが 22 時過ぎにお開きになった。楽しく心温かい人たちとの出会いが嬉しい。

明日は 6 時出港で 70NM 先のタオルミーナを目指す。

9 月 22 日 (土) Rocceella Ionica~Taormina 71NM 晴れ 微風

05:30 起床、まだ外は暗い。出港準備して 06:00 に舳いを解く。日の出が 6 時 30 分過ぎだ。

入港時オンザサンドしたので其処を避けて注意深く出港する。

風が無く機走になる。朝早い時は出港してから朝食になる。コーヒー、蜂蜜とパン、ヨーグルトとバナナの簡単な食事だ。

この辺りは釣りが盛んで早朝から釣り船が出ているので見張りが大事だ。

お昼にトマトサラダと納豆かけ豆腐を頂く。私がダイエットしたときの健康食だ。冬に 10 kg やせた。

悦子がトローリングの糸を揚げようとしたら日本でいうブリの子わかしに似た綺麗な魚が掛かってきた。小さいが二人での刺身に十分の量だ。早速さばいて夕食用にする。今年初めての釣果だ。

生憎と良い風が吹かず機帆走しながら 12 時間エンジンで走った。

タオルミーナの崖の直ぐ下にある泊地に 18:00 アンカーを打つ。ここも何回かアンカーを打ったところで馴染がある。風は無いのだがうねりが入り結構艇が揺れる。1 艇だけアンカーリングしていた。

生ハムと洋ナシで白ワインを飲んでからエビの頭を使ったスープ、トマトとルッコラのサラダ、そして今日の釣果のお魚の刺身をご飯で頂く。日本のワカシに似た味で遜色ない美味しいお魚だった。

月が丸くなって来ているので日よけのビニトップをたたんで月とタオルミーナの夜景を見ながらウイスキーのオンザロックで食後を楽しむ。

艇は揺れるが風もないので心配なく寝れる。ゆりかごで寝る様だった。

9月23日 Taormina~Catania 25NM 快晴 微風

錨泊なので外部電源は無く、220Vの電源は使えない。朝食にパンをガスオーブンで焼いてコーヒー、カボチャのスープ、ヨーグルトで頂く。雲一つない青空だ。タオルミーナの町が覆いかぶさるように錨泊地を見下ろす丘の上にある。昨晚のうねりによる揺れも治まった。

久しぶりにひと泳ぎする。10mの底まで良く見える。

10:30にアンカーを揚げてイソラ・ベッラの海辺の方を廻りながらタオルミーナの町を覗いて行く。北側の一番高い頂きには城塞が建っている。孤立した山の頂上には中世の町カステロモーラが美しく見える。この丘の上にはギリシャ劇場もあるがそれは見えなかった。

エトナ山は生憎と雲に隠れていたが静かな海面を機帆走する。途中自然保護区域があり慌ててトローリングのルアーをあげる。

お昼にはチャーハンを頂く。イタリアに入りパスタ、お米と炭水化物を食べる量が増えているので食べ過ぎに注意だ。

カタニーヤのマリーナは大きな商業港の中にある。今日も豪華大型客船が入港していた。

この港の中には4つほどのマリーナがある。前回繫留した **Circolo Nautico N.I.C** のマリーナに行く。電話してもVHFで連絡しても誰も出てこない。ゆっくり近づくとスタッフらしき人が指示してくれた。一切英語を喋らない人で、すべて身振り手振り振りでやった。

15:40に舫う。ここは港の奥で町迄遠くなるが一応施設が全部揃っているのを助かる。早速艇を水洗いする。

明日から毎年来ているロシア人のリサが来るのでレンタカーの手配をインターネットでする。小型の車だが3日間で56€で借りられた。

久しぶりにシャワールームで体を洗う。

日が暮れるのが大分早くなった。19時前に太陽が沈むようになった。

夕食に野菜サラダ、カラマリのグリル、サーディンのシチリア風の料理を頂く。一昨日の宴会、昨日は錨泊という事で白ワインが残り少なく二人で分けて飲むが足りなく最後は赤ワインにした。

食事も早く終わったので、静かなマリーナ内の艇の上で満月を見ながらのんびり過ごす。

9月24日(月) Catania 快晴 微風

今日はリサがウイーンから来る日だ。朝食後昨日インターネットで予約したレンタカーをカタニーヤ港内にある **Avis** に行き行って借りる。10時から借りる予定だったのでその時間行

ったら既に 3, 4 人待っていた。

昨日は日曜日でマリナーのオフィスが閉まっていたので書類を持って手続きに行くが書類もいないとの事手続きなしで繋留することになる。ここのチーフは前回来た時からの馴染みの人で日本が大好きだと言っていた。

バウスラスターのバッテリーが弱くなっていたのでこのメカニックに頼んで交換してもらう。バッテリー代 300€、工賃 50€だった。

お昼にポモドーロのパスタを頂く。昼食後レンタカーで市場に行ってみる。お昼過ぎていたので市場は終わっているかなと思っていたがメインの魚市場以外は開いていた。新鮮な野菜、果物、アサリ、ビーフステーキを買う。

その後思い出しながら馴染みのスーパーマーケットに行き、ワイン等当面の食料を買う。

ランドリーが見つからないので自分で洗濯をしてシャワーを浴びた後、コックピットで横になって居ると隣にカタマランが入ってきた。ぎりぎりの幅なので後ろの舳いを少し緩めてスペースを若干広げた。

リサからメールが入り 20 時到着の便が一時間遅れになるとの事だった。それに合わせて空港に迎えに行く。

約 40 分遅れで飛行機が到着して元気な姿でリサが出てきた。

艇に戻って歓迎のパーティーをする。彼女は昨日コンサートがあってそのまま来たとの事であった。昨年は CAVOK 5 に来れなかったので一昨年のコルフ島以来になる。その時は風が強くコルフ島から出港出来なかったが今回も 3 日間は強風が続くので暫くカタールニヤ滞在となる。レンタカーは 4 日間借りておいた。

9 月 25 日 (火) Catania 曇り 強風

夜半から風が強くなってきてフェリーの出入りの波と合わせて艇が大分揺れる。隣のカタマランとも擦れる。繋留してある場所がマリナーの一番外側の防波堤なので波が入る。マリナーのマスターが来てくれ揺れが激しい様だったら内側に移動出来るとの事だったので隣のカタマラン共々移動した。親切なマスターで色々助かる。今度は静かになった。

昼前にマーケットを見学してからバロック建築で建てられた情緒ある街並みを歩きながらリサと悦子はウインドショッピングをする。

町の中心にドゥオーモ広場があり町のシンボルになるエジプトから運ばれたオベリスクを載せた火山岩で出来た象の噴水がある。カタールニヤはエトナ火山の噴火で何回か大きな被害を受けている。広場にはローマ時代の浴場の上に建てられた大聖堂があり、そのファサードが見事だ。大通りの途中にはローマ時代の円形闘技場の遺跡が保存されていた。

カタールニヤの歴史だが旧石器時代にネアンデルタール人が住んでいたそうだ。

先史時代以降紀元前 776 年にギリシャ人がカタールニヤ近郊に都市を作っている。その後ローマ帝国が統治するが西ローマ帝国が滅びてゴート族、フランク族が押し寄せてきている。

紀元 8 世紀にはイスラム支配になるがその後レコンキスタのスペイン領土になっている。

1215 年には神聖ローマ皇帝になったフリードリヒ 2 世が統治する。一筋縄ではいかないヨーロッパの歴史を見ることが出来る。

お昼はリサが調べてきたシチリアの伝統的料理の店に行く。彼女はいつもだが観光客の行くような店には行かない。お陰でこちらはお相伴に与っている。

“Torattoria di De Flore” というお店で小さなこじんまりした感じの良いお店だった。1962 年からのお店でコック長の名物おばあちゃんが注文を取ってくれた。

シシリー料理を頼む。パスタノルマ、イカスミパスタ、馬肉のミートボール、サーディンとチーズとナッツとオリーブの詰めた揚げ物をシシリー産ハウスワインで食べるがいずれも味付けが良く美味しく頂いた。

3 時間近くの昼食を終わり艇に戻ってシェエスタする。

9 月 26 日 (水) Catania 雨後曇り

今日はリサの案内で内陸観光に行く。リサは日本では無い詳しくシチリアを書いてあるドイツの観光案内の本を見ているので大変詳しい。

エンナ (Enna) の町を目指す。カタニーヤから約 100 km 内陸に入ったところだ。お昼の目的にしていたエンナの近くのレストラン “al Fogher” に寄ってお昼の予約をしてから、カサーレの古代ローマの別荘に寄る。ここは前に来たことがあるがローマ時代のモザイクが素晴らしい。14 時に予約してあったエンナの近い場所に一軒ぽつりと建っているレストラン “al Fogher” に行くがここが素晴らしい雰囲気のあるレストランで伝統的なイタリア料理を出してくれる。

其々ウサギの肉、カジキマグロのソテー、ラムの煮込みを食べるがフランス料理と違ってシンプルながらもイタリアらしい味付けの美味しい料理だった。

大満足の昼食の後エンナにあるロンバルディア城に行く。この城はアラブ人、ノルマン人の要塞跡に神聖ローマ帝国皇帝フリードリヒ 2 世が建て、その後アルゴン家が改造したという城だ。この城のピサの塔から見るパノラマは雄大で他の丘の上に見える街並みやなだらかな丘にオレンジ畑やオリーブ畑、そして農地が広がり素晴らし景観だった。

一日シチリアの内陸を楽しんで艇に戻るとカタマランのドイツ人がメッシーナ海峡の情報を教えてくれるという事で艇に来てくれ細かい情報を教えてくれる。温かい心遣いが嬉しい。感謝する。

夕食は野菜サラダと先日仕入れたあさりでスパゲッティボンゴレをロゼワインで頂く。

最後はサボテンの実のリキュールで締める。

9 月 27 日 (木) Catania 快晴 強風

朝食後直ぐマーケットに買い物に行く。果物、野菜、先日食べて美味しかったヒレ肉、

生ハム、チーズを買ってから内陸ドライブに出かける。今日もリサが調べたルートだ。

シシリー島の内陸は豊潤な土地で北海道を思い出すようななだらかな丘がうねるように大きく広がっている。そしてすべて開墾されていて場所によってはオリーブそしてブドウ畑になっている。放牧地に牛、馬、羊が放牧されている。集落は丘の上にあり、集落というより大きな町を形成している。フランスの鷲の巣村を大きくしたような感じだ。

集落の上から見る雄大な農地の光景は美しかった。

お昼はパレルモ県になる *Petralia Soprana* の町にある “*Lu Carme*” で食べる。子牛のカルパッチョは初めて食べたがカジキマグロのような柔らかいお肉で味付けも良く気に入った。

ここはメニューにお肉がなくポークチョップとラムチョップをシェアして食べる。

私は運転するのでワインは飲めなかったがとってもコクのある美味しい赤ワインだったそう。

お昼にいつも時間を取ってしまう。それでも途中の村の **Bar** に入りエスプレッソを味わう。

高速道路で約 130 km の距離があるカターニャに戻るがカターニャ市内で大渋滞に巻き込まれ 2 時間程ロスして 20 時過ぎに艇に着く。

遅くなったのでロゼワインに生ハムレモン、今朝買ったモッツァレラを使ってのカプレーゼ、ブドウで済ませます。

少々長い時間の運転と夜間にかかったので疲れた。

9月28日（金）Catania 曇り 強風

出来れば今日タオルミーナに向かって出港したかったがうねりと風が未だ強いのでやめた。もう 1 艇出港予定していた艇は出て行った。沖を見ると大きく揺れながら機走していた。その艇のキャプテンは 2 回世界一周をしたそう。奥さんとお孫さんのような小学生の坊やを二人乗せていた。この後ギリシャに向かうとの事だった。

レンタカーを返す前にマーケットに行ってタコ、カジキ、野菜を買う。



買い物の後の朝食で遅くなりお昼兼用となった。

艇の蛇口から水が出なくなる。給水ポンプの故障の様だったのでマリーナのメカニックに見てもらう。ポンプを外してみるとポンプが壊れていたの新しいのと替えてもらう。マリーナでの故障で良かった。結構水が使えなくなると厳しい。

午後はメッシーナ海峡の潮流を調べる、そしてメッシーナのマリーナの予約をする。英語を喋らないイタリア人が多いので困ることがある。

悦子とリサは町にショッピングに出かける。

私は明日の準備をした後、町に運動がてら出かけてシチリアのお土産を買う。

繫留料を払いに行くが馴染みのチーフがいなくて別の人が清算してくれる。1日 55€で良心的なマリーナだ。

明日のメッシーナ海峡の潮流の時間をメッシーナ・コントロールに電話で確認するが生憎と我々が行く北行きと反する潮が丁度メッシーナにかかるころになる。小さな船は岸側を通るので、それほど潮は気にしないで良いという人もいるので明日行くことにする。

波の予想を見ると明日の午前中は2mある。風も正面になるので明日は、乗り心地は悪いと思う。

夕食は今朝仕入れたエビ、タコがメインになる。

たっぷりサラダとブロッコリン、カリフラワーの酢漬けそして市場でおまけしてくれたシャコ貝で一杯始める。エビはガーリック味のソテー、タコは刺身で頂く。リサはシャコ

貝とタコ刺身は初めてだそうだがチャレンジして美味しいと言っていた。

エビは新鮮で味付けも良かった。タコは久しぶりに山葵醤油で頂く。日本酒と行きたいところだが白ワインで美味しく頂けた。

9月29日(土) Catania~Messina 51NM 晴れ 微風後順風

6日間カタニーヤに泊まった。台風並みの低気圧の影響で出港出来なかった。

6:30に起きて07:00に舳いを解く。湾内でメインセールを揚げてから港外に出る。相変わらず大きなうねりがある。風は治まって弱い南西からの風で後ろからになる。

リサは寝かしたままで出港した。うねりだけなので波を叩くことが無いので助かる。機帆走する。

エトナ山の全容が綺麗に見え山頂からは噴煙が棚引いていた。タオルミーナを通過したときタオルミーナの泊地には錨泊している艇は見つからなかった。

今日は揺れるのでお昼は乾きものと果物で済ますと云っておいたが悦子がサンドウィッチを作ってくれた。お腹が空いていたのもあって美味しかった。

13時からメッシーナ海峡の潮が我々の北行きに反対の南に流れる。岸側を航行しているのと潮の影響なく航行出来た。

メッシーナのMarina Del MettunoにVHFで連絡するとラバーボートで向かいに来てくれた。前日に電話で予約を入れておいた。

16:20にポンツーンに横付けする。海の色がマリーナ内でも素晴らしく綺麗な透明度の高いブルーカラーだった。

このマリーナは施設のわりに結構高いので悪評だがティレニア海とイオニア海を結ぶメッシーナ海峡の出入りに位置しているのでプランするには好都合の場所である。

この時期で98€だった。

メッシーナの町には特に見るべきものが無いので艇でハッピーアワーを過ごす。

夕食はこの間カタニーヤのマーケットで買ったヒレ肉ステーキをサラダと頂く。味は美味しかったが前回同じところで買った部位に比べて筋が一寸入っていた。

シチリア産赤ワインと美味しく頂いた。

9月30日(日) Messina~Vulcano 41NM

07:05に舳いを解く。この時間のメッシーナ海峡の潮の流れは北行きなのでタイミングが良い。

メッシーナ海峡は北行きと南行きと中心を境に航路を分けている。小型船はその枠外の岸側を通れば関係ない。GPSチャートで区域を見ながら海峡を通過する。追潮2ノットの恩恵に与る。

メッシーナ海峡を通過して進路を西に取るが生憎と向かい風になる。10ノット強の良い風が吹くが機帆走する。

風が正面からでないので助かるがセーリングは楽しめなかった。

3度目になるブルカノ島のアンカーレヅジに 14:25 にアンカーリングする。

お昼を食べてなったのでお昼にカジキを入れたポモドーロを頂く。食休みをした後 3人で泳いで泥温泉と海中温泉に泳いで入りに行く。泥温泉はぬるま湯でいつまでも浸かっていられる。そして海中温泉は浅い所から温泉が湧き出て海水と混じって心地よい温度になっている。

両方の温泉を浴びた後泳いで帰る。明日行く予定の Cefalu のマリーナの予約を入れておく。

今晚は錨泊なので久しぶりの BBQ をする。カタニーヤで仕入れたエビとマグロそして野菜を BBQ で楽しむ。アンカーリングしたときは 4, 5 隻の艇が錨泊していたが夕方には 15 艇程に増えていた。

静かな海で天の川を見ながらナイトキャップをしてからやすむ。

10月1日(月) Vulcano~Cefalu 50NM 快晴 微風

朝食はさっさと済ませて 07:15 にアンカーを揚げる。近くにアンカーを打っている艇 2 艇程いてアンカーがそれらの艇の下になっているかと心配しながら揚げたが接近したものの無事揚がった。

風が弱く機走になる。途中から弱い風が吹き出し機帆走になるが最後まで帆走は出来なかった。

お昼に昨晚の BBQ の残りのエビとツナを入れたポモドーロを頂く。

約 9 時間の機走でチェファルのマリーナ 16:05 に舳取りを取る。VHF が通じてスタッフが係留場所を指示してくれた。

イタリアのマリーナは高くここも一日 80€ で 2 日目は 70€ とまけてくれた。

早速マリーナの電動小型シャトルで町に出る。綺麗な旧市街の街並みで観光客で溢れていた。又海水浴場では夏盛りの様に海水浴客がいた。

明日リサをパレルモ空港迄送っていくがてら島内を観光して美味しいランチを食べに行くためレンタカー屋を探す。Europacar に行くと一日 79€ との事、高いのでやめてインターネットで探して Avis が 59€ であったので予約した。

町は細い路地の旧市街地でお店が並び大変アトラティブで観光客も多い。

シチリア王国を建設したノルマン人のロジャー国王が 1137 年に建てたドウオーモ・ディ・チェファルを覗くが大変大きな立派な建物だった。イタリアはいたるところに立派な教会がある。

夕食はリサが調べておいたレストラン “Friscele” に行く。ミックスサラダ、ポイルド・カトルフィッシュサラダ、ラビオリ、ツナヒレグリル、ツナのタルトをシチリア産の白ワインで食べる。ツナの料理には果物や香草で調理してありとても美味しかった。リサのお陰

で外食は全て当たりになる。デザートにミルフィーユを女性が私はグラッパにした。
気候が丁度良くなり夜になると半袖だと寒くなるぐらいだ。
賑やかな街を散歩しながらシャトルバスが迎えに来る場所まで歩く。
艇に戻って艇内でシャワーを女性は浴びた。このマリーナは高いわりにシャワーが無い。

10月2日（火）Cefalu 曇り午後時々雨

朝食後今日ドイツに帰るリサをパレルモ空港に送りがてら内陸をドライブしてランチをシチリアならではのレストランでとる事にしていた。

マリーナでシャトルを頼むとおじさんが車で町迄送ってくれる。

そのついでに二日以上繋留したら安くないかと問いかけたら 50€にまけてくれたので5日迄ここに停泊することにした。

Avis で車を借りて最初 Santuario Di Gibilmanna に寄る。丘の上に建ちイオニア海を一望できる大聖堂だ。12世紀にロジャー国王が建設した。



次に山中にあるレストラン“Casale Drinzi”に行くが今日は休みだった。そこで姉妹店にもなる“Mercatale”を教えてもらい行くがここはランチが無という事でコーヒーを飲む。地元産の蜂蜜やジャムが置いてあり品質も良いのでお土産に買う。

リサが次なる場所を調べてここから40分ぐらいで行けるCaccamoの町のレストランに行く。途中の山中の景色は牧歌的で美しかった。カッカモには12世紀にロジャー国王が

建てたお城がある。丘の上に孤高に立つ城壁の高い城だ。その脇にある“A Castellana”でやっとランチにありつけた。

タリアテッレ、マッシュルームソースのヒレステーキ、焼きナスのペースト、茄子のカポナータを食べるがシチリアの味付けでどれもが美味しかった。食後城を見学してパレルモ空港迄リサを送りチャフルに戻る。チャフルのスーパーマーケットで次の航海の為の買い物をする。

今日は久しぶりに小雨が時折降った。マリナーでもうねりが入り艇が時折ガクンと引っ張られる。

お昼が遅かったので夕食はサラダ、ハム、冷ややっこに納豆で簡単に済ます。

10月3日(水) Cefalu 曇り 午後終日雨

朝レンタカーを返しに行く。インターネットで予約した値段が全て込みで一日59€だったのが支払う段階で102€になっている。Avisにインターネットで確認のメールを送る。

戻ってから洗濯して干すが生憎と雨が降りだし船内に取り込む。

東に海が開いている。昼過ぎから港に東からうねりが入って来て艇が結構揺れる。ポンツーンと艇が揺れるので乗り降りが難しいのでお昼から終日艇内で過ごす。

お昼にオムレツを頂く。

うねりで艇が前後に強く引っ張られるのでスプリングを入れた舳いロープで増し舳いをする。その増し舳いのロープも2度ほどぶちぎれてしまう。風は微風なのに心配するほど揺れる。とても避難港としては使えない。

隣の艇も舳いがぶちぎれたりして苦労していた。

真夜中過ぎまでウオッチを続けた。

10月4日(木) Cefalu 曇り後雨

今日は午前中日が差したので昨日洗った洗濯物を干すが昼頃から雨が降りだしてきた。うねりも治まってこないで町の裏に聳え立つ岩山に登る予定だったのをやめて艇内に居ることにした。

お昼にスパゲッティボンゴレーを白ワインで頂く。美味しい。

午後は日記等の整理をする。

ポンツーンも大きく揺れる中、艇が入ってくる。一人艇に渡る梯子から海に落ちていた。

悦子は昨日から一歩も外に出ていない。

雨で湿り気があるので暖房を入れたが温かくなならない。又一つ不具合発生だ。緊急を要すことでないので様子を見ることにした。

夕食に野菜サラダ、ロマネスコとオニオンのカレー風マリネ、ブロッコリン、アンチョビのマリネとトーストのカナッペ、タコ刺身をシチリ産ワインで頂く。今日飲んだワインはシチリア産で一番知られていると云う“Corvo”で白は辛口で爽やかだ。

午後になりうねりが静かになり舳いロープを伸ばしたせいもあるがガクンという引きは無くなった。

安心して休む。

10月5日(金) Cefalu~Palermo 32NM 曇り 順風~強風

折角うねりも無くなりゆっくり寝れたが朝起きる頃から、又うねりが入って来て揺れが始まった。朝食を艇内で済ませて出港準備をする。スプリングを入れていた増し舳いを外しにポンツーンに上がり、揺れるので腹ばいになってシャックルを外そうとして苦戦していたら前の艇の人が二人来て助けてくれた。

無事 08:15 に出港した。

暫くうねりのある海面を機帆走する。2時間ぐらゐると良い風が吹き出し帆走に移る。だんだん斜め後ろからの風が強くなり 20 ノット前後になってきたのでジブ、メインともリーフする。それでも7ノット以上キープする。快調だ。

大きなパレルモの港内に入りその中にいくつかあるマリーナの内予約しておいた Sitimare Marina に VHF で連絡したら予約は土曜で今日金曜日でない。今日はいっぱいだと云って来た。それでも再度金曜の予約だと云ったら少し待てという事で 10 分ほど待っていると OK との返事が来た。

14:00 に舳う。ここは 2015 年に来たことのあるマリーナでオフィスに行く覚えてくれていて先ほどは待たして申し訳なかったと話していた。二人いたスタッフは大変日本に興味を持っていた。西洋と違うカルチャーに興味があるようだった。

シャワーのヘッドが壊れていたのを売っている場所を聞いたら買ってきてくれた。

艇に居ると小さな子供連れのお父さんが来て、奥さんが日本人との事で後から艇に尋ねに来て良いか聞いて来た。

暫くすると日本人の奥さんと二人の子供を連れて訪ねてきた。

ご主人はドイツ人で 42 歳のカメラマンだそうだ。1 年前よりヨットの上で生活していて彼から大西洋、太平洋と航海予定しているとの事だった。

夕食は野菜サラダ、ブロッコリン、アンチョビのマリネとトーストのカナッペ、鶏の胸肉のアレンジソースを白ワインと赤ワインで頂く。

微動だしない艇内でぐっすり休む。